



パフォーマンス **LED** モニター

UML-273-90 | UML-323-90 | UML-423-90 | UML-553-90



BOSCH

ja ユーザーマニュアル

目次

1	安全にご使用いただくために	4
1.1	安全に関するご注意	4
1.2	安全に関する表示	6
1.3	重要な通知	6
1.4	カスタマサポートおよびサービス	10
2	開梱	11
2.1	パーツ一覧	11
3	アクセスと接続	12
3.1	前面操作パネル	12
3.2	後面パネル	13
3.3	底面パネル	16
3.4	リモートコントロール	17
3.5	リモコンへの電池の装着	18
4	説明	19
4.1	特長	19
4.2	電源	19
5	モニターの設置	21
5.1	換気	21
5.2	電源接続	21
5.3	コンポジット映像信号の入力	21
5.4	Y/C (S ビデオ) 信号のモニターへの接続	21
5.5	音声のモニター接続	21
5.6	PC 信号をモニターに接続する	21
5.6.1	HDMI 接続	22
5.6.2	DVI 接続	22
5.6.3	VGA 接続	22
5.7	アラームトリガーの接続	22
5.8	シングル / マルチモニター構成	24
5.9	アクセサリの取り付け	25
5.9.1	モニターの卓上への設置	25
5.9.2	モニターの壁面への取り付け	27
6	モニターの操作	29
6.1	操作パネルの操作	29
6.2	モニターのオンスクリーンディスプレイ (OSD) の使用	29
6.3	オンスクリーンディスプレイメニュー	30
6.4	[画像] メニュー	31
6.5	[音声] メニュー	33
6.6	[オプション] メニュー	34
6.6.1	使用できる PIP	36
6.7	[設定] メニュー	37
7	電源管理	40
7.1	消費電力	40
7.2	LED インジケーター	40
8	トラブルシューティング	41
9	メンテナンス	42
10	技術仕様	43

1 安全にご使用いただくために

1.1 安全に関するご注意

以下の安全のための注意事項をすべてお読みになり、これらの注意事項に従って製品を安全にお使いください。また、この冊子は今後も参照できるように、確実に手元に保管してください。本機を使用する前に、本機に貼り付けられている警告や操作マニュアルに明記されている警告をすべて確認してください。

1. 清掃 - 清掃する際は、本機をコンセントから外してください。本機に付属するマニュアルの手順に従ってください。通常は、乾いた布で拭くだけで十分ですが、湿らせた毛羽立たない布やセーム皮を使ってクリーニングすることもできます。液体クリーナーやクリーニングスプレーは使用しないでください。
2. 熱源 - ラジエーターやヒーター、ストーブなどの熱源（アンプを含む）の近くに本機を設置しないでください。
3. 換気 - 本機には、過熱を防いで動作を安定させるための、換気用の開口部が設けられています。開口部を塞いだり、覆ったりしないでください。換気が十分でない筐体や、メーカーの指示を満たしていない筐体に本機を組み込まないでください。
4. 水気 - 浴槽や洗面台、流し台、洗濯機の周辺などの湿気の多い場所、または高湿度で結露の多い地下室やプール、屋外など、水や雨のかかる場所に本機を設置しないでください。火災や感電の危険を避けるために、本機を雨や湿気にさらさないでください。
5. 異物や液体の侵入 - 本機の開口部にいかなる異物も挿入しないでください。危険な高電圧部分に触れたり、内部の部品がショートしたりして、火災や感電を引き起こす危険があります。本機の上に液体をこぼさないでください。花瓶やカップなど、液体が入ったものを本機の上に置かないでください。
6. 雷 - 雷雨時に本機を保護したり、本機を使用しないまま長時間保管したりする場合は、本機を電源コンセントから外してケーブル類を抜いてください。こうすることで、雷や送電線によるサージから本機を保護できます。
7. コントロールの調整 - 操作マニュアルに記載されているコントロールのみを調整してください。誤って他のコントロールを調整すると、本機が故障することがあります。マニュアルに明記されているもの以外のコントロールや調整を使用したり、手順を実行したりすると、危険な電磁波が放出される可能性があります。
8. 過電流 - コンセントや延長コードの定格電流を超えないように注意してください。火災や感電の原因になることがあります。
9. 電源コードやプラグの保護 - プラグや電源コードを足で引っ掛けたり、それらの上に物を置いたり、電源コンセントや本体コード接続部に物を押し付けたりしないでください。
10. 電源の遮断 - 電源コードを電源コンセントに接続している間は、常に電力が供給されます。電源コードは、すべての装置への電圧を遮断する主電源遮断デバイスです。
11. 電源 - ラベルに記載されている種類の電源以外、使用しないでください。操作を続ける前に、本機に取り付けられているケーブルから電源を遮断してください。
 - バッテリーで動作する装置の場合は、操作マニュアルを参照してください。
 - 外部電源で動作する装置の場合は、推奨または認可された電源以外、使用しないでください。
 - 制限電源装置の場合、電源が EN60950 に準拠する必要があります。それ以外の電源を使用すると、本機が破損したり、火災や感電の原因になったりすることがあります。
 - 使用する電源の種類が不明な場合は、販売店または地元の電力会社にお問い合わせください。
12. 修理 - 有資格者以外は、本機の修理を行わないでください。カバーを開いたり取り外したりすると、危険な高電圧やその他の危険物が露出する恐れがあります。本機の修理は有資格のサービススタッフに依頼してください。
13. 修理が必要な損傷 - 次のような損傷が発生した場合は、AC 主電源との接続を遮断して、有資格のサービススタッフにお問い合わせください。
 - 電源コードまたはプラグが損傷している。

- 本機が湿気や水、または悪天候にさらされた（雨、雪など）。
 - 液体が本機の内部に浸入した。または、本機にかかった。
 - 異物が本機の内部に入り込んだ。
 - 本機を落としたか、本機のキャビネットが損傷した。
 - 本機の性能がはっきりと変化した。
 - 操作マニュアルに従って正しく使用しても本機が正常に動作しない。
14. 交換部品 - 弊社指定品、または元の部品と同じ特性を持つ部品を使用してください。承諾されていない代用品は、火災や感電、その他の危険な状況の原因になることがあります。
 15. 安全チェック - 修理や点検が完了したら、安全チェックを実施して正常に動作することを確認してください。
 16. 設置 - 本機の設置は、弊社の規定や設置する地域の法規に従って行ってください。
 17. 付属品の取り付け、本機の変更や改造 - 付属品やアクセサリは弊社指定品を使用してください。Bosch からの明示的な許可を得ずに本機を変更または改造した場合、保証が無効になることがあります。また、承諾契約を交わしている場合、本機を操作する権限が無効になることがあります。

1.2 安全に関する表示



危険!

高レベルの危険：製品内の「危険電圧」など、差し迫った危険な状況を示します。



警告!

警告：この記号は「死亡や重傷を負うおそれがある内容」を示しています。



注意!

注意：この記号は「傷害を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容」を示しています。

1.3 重要な通知



付属品 - 本機を不安定なスタンドや三脚、ブラケット、取付器具の上に設置しないでください。本機が落下して、重度の怪我をしたり、本機が完全に破損したりすることがあります。メーカーが指定するカート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルのみを使用してください。カートを使用する場合は、カート / 器材ともに慎重に移動するようにし、転倒などによって怪我をしないように注意してください。急に止めたり、力をかけすぎたり、平らでない面に置いたりすると、カート / 本機ともに横転することがあります。本機はメーカーの指示に従って設置してください。

全極型電源スイッチ - 各極に最低 3mm の接点間隔を設けた全極型電源スイッチを、建物の電気設備に組み込んでください。修理などのために筐体を開ける必要がある場合は、この全極型スイッチを主電源遮断装置として使用して、モニターへの電力供給を切断してください。

同軸アース：

- 外部のケーブルシステムを本機に接続する際は、ケーブルシステムをアースに接続してください。
- 本機のアースプラグをアース端子付きのコンセントに接続するか、アース端子を正しくアース元に接続してから、屋外の機器を本機の入力に接続してください。
- アースプラグまたはアース端子を取り外す前に、本機の入力コネクタを屋外の機器から取り外してください。
- 本機に接続されている屋外の機器のアース接続などに関する安全のための注意事項に従ってください。

米国 モデルのみ - *National Electrical Code, ANSI/NFPA No.70 のセクション 810* に、取付器具および支持構造の適切なアース、放電装置に接続する同軸ケーブルのアース、アースコンダクターのアースサイズ、放電装置の設置場所、アース電極への接続、アース電極の要件に関する情報が記載されています。



廃棄 - Bosch 製品は、リサイクルおよび再利用が可能な高品質の材質やコンポーネントを使用して開発、製造されています。この記号は、使用済みの電子部品や機器を家庭用のごみと分別して、回収および廃棄しなければならないことを示しています。通常、電子部品や機器は、国や地方自治体によって分別回収や廃棄方法が異なります。

電子監視 - 本機は公共の場所での使用のみを目的としています。米国 連邦法により、会話の無断での録音は固く禁止されています。

環境に対する取り組み - Bosch は環境保護に全力で取り組んでいます。本機は環境をできるだけ配慮した上で設計されています。

静電気の影響を受けやすいデバイス - 適切な CMOS / MOS-FET 取扱手順に従って、静電気放電を防いでください。注意：静電気の影響を受けやすいプリント回路基板を取り扱う際は、規定の静電気除去リストストラップを着用し、適切な ESD 安全事項に従ってください。

ヒューズ定格 - デバイスのセキュリティ保護のために、分岐回路保護は 16A の最大ヒューズ定格で安全を確保する必要があります。NEC800 (CEC セクション 60) に従ってください。

アースプラグおよび分極プラグ - 本機には、交流線の分極プラグ (一方のブレードの幅が他方よりも広い) が付属している場合があります。この安全機能により、電源コンセントへのプラグの接続方向が 1 方向に制限されます。プラグをコンセントに完全に差し込めない場合は、最寄りの正規の電気店に依頼して旧式のコンセントを交換してください。分極プラグの安全機能を無効にしないでください。地域によっては、3 極アースプラグ (アース接続用の 3 本目のピンが付いているプラグ) を搭載している場合もあります。このプラグは、アース端子付きの電源コンセントにしか差し込めないため安全です。プラグをコンセントに差し込めない場合は、最寄りの正規の電気店に依頼して旧式のコンセントを交換してください。アースプラグの安全機能を無効にしないでください。

移動 - 本機を移動する前に、電源を遮断してください。本機は慎重に移動してください。力を入れすぎたり、衝撃を与えたりすると、本機およびハードディスクドライブが損傷する可能性があります。

屋外の映像信号 - 屋外の映像用に設置する場合、特に電源や避雷針との間隔、および過度電流からの保護については、NEC725 および NEC800 (CEC 規則 16-224 および CEC セクション 60) に従ってください。

常時接続機器 - 建物の配線図内に、簡単にアクセスできる遮断装置を用意してください。

プラグ着脱可能な機器 - 本機の近くにコンセントを設置し、簡単にアクセスできるようにしてください。

電源の再供給 - 指定された動作温度を超過して本機の電源が強制的に遮断された場合は、電源コードを取り外し、30 秒以上待機してから、電源コードを再び接続してください。

電源ケーブル - ディスプレイを送電線や電源回路、電灯の近くに設置したり、それらと接触する可能性のある場所に設置したりしないでください。

ラックへの取り付け

- 換気 - 本機は、換気が十分でない場所や、メーカーの指示を満たしていない場所に組み込んだりラックに取り付けたりしないでください。本機の最大動作温度要件を超えないようにしてください。
- 機械的負荷 - 本機をラックに取り付ける際は、不均一な機械的負荷がかかって危険な状態にならないように、適切にラックに取り付けてください。

SELV

すべての入力 / 出力ポートが Safety Extra Low Voltage (SELV) 回路です。SELV 回路は他の SELV 回路にのみ接続してください。

ISDN 回路は電話網電圧と同様に扱われるため、SELV 回路を電話網電圧 (TNV) 回路に接続しないでください。

システムアース / 安全アース

システムアースは、特定の国の安全基準や設置上の慣例に従う目的でのみ使用します。明示的に必要とされている場合を除き、システムアースを安全アースに接続することは推奨しません。ただし、システムアースと安全アースが接続され、アースループが映像信号の干渉の原因になっている場合は、絶縁変圧器 (Bosch から別途購入可能) を使用してください。



注意!

システムアースを安全アースに接続すると、アースループが発生し、防犯カメラシステムに障害をもたらす可能性があります。

映像ロス - 映像ロスは、デジタルビデオ録画に固有の現象です。このため、Bosch Security Systems は、映像情報の損失による損害に対して一切責任を負いません。デジタル情報が欠落するリスクを最小限に抑えるため、Bosch Security Systems では、複数の録画システムを用意して冗長化すること、およびすべてのアナログおよびデジタル情報のバックアップを取る手順を設けることをお勧めします。

**注意!**

この製品はクラス A 製品です。この製品を家庭環境で使用すると、無線妨害を引き起こすおそれがあります。この場合には、ユーザーが適切な対策を講じることが必要になる場合があります。

(米国 およびカナダモデルのみ)

本機は FCC 規則の第 15 部に準拠しています。本機の動作は以下の条件に準じています。

- 本機は有害な干渉を起こしません。
 - 本機は、予期しない動作をもたらす可能性のある干渉を含め、あらゆる受信干渉を許容します。
- 注：本機は、FCC 規則の第 15 部およびカナダ産業省の ICES-003 に基づく **Class A** デジタルデバイスの制限に準拠することがテストにより確認されています。これらの制限は、本機を商業環境で作動させたときに有害な干渉から適切に保護するためのものです。本機は、無線周波エネルギーを生成、使用、および放射します。指示どおりに設置して使用しないと、無線通信に対して有害な電波干渉を及ぼすことがあります。本機を住宅地で作動させた場合、有害な干渉を引き起こす可能性があり、その場合はユーザーが自己の費用による干渉の是正を要求されることがあります。
- 当該製品の準拠内容に対して責任を負う者が明示的に承認していない改造を行うことは、意図的であるか否かを問わず禁止されています。

Informations FCC et ICES

(modèles utilisés aux États-Unis et au Canada uniquement)

Ce produit est conforme aux normes FCC partie 15. la mise en service est soumise aux deux conditions suivantes :

- cet appareil ne peut pas provoquer d'interférence nuisible et
- cet appareil doit pouvoir tolérer toutes les interférences auxquelles il est soumis, y compris les interférences qui pourraient influencer sur son bon fonctionnement.

AVERTISSEMENT : Suite à différents tests, cet appareil s'est révélé conforme aux exigences imposées aux appareils numériques de **Classe A** en vertu de la *section 15 du règlement* de la *Commission fédérale des communications des États-Unis (FCC)*. Ces contraintes sont destinées à fournir une protection raisonnable contre les interférences nuisibles quand l'appareil est utilisé dans une **installation commerciale**. Cette appareil génère, utilise et émet de l'énergie de fréquence radio, et peut, en cas d'installation ou d'utilisation non conforme aux instructions, générer des interférences nuisibles aux communications radio. L'utilisation de ce produit dans une zone résidentielle peut provoquer des interférences nuisibles. Le cas échéant, l'utilisateur devra remédier à ces interférences à ses propres frais.

Au besoin, l'utilisateur consultera son revendeur ou un technicien qualifié en radio/télévision, qui procédera à une opération corrective. La brochure suivante, publiée par la Commission fédérale des communications (FCC), peut s'avérer utile : *How to Identify and Resolve Radio-TV Interference Problems* (Comment identifier et résoudre les problèmes d'interférences de radio et de télévision). Cette brochure est disponible auprès du U.S. Government Printing Office, Washington, DC 20402, États-Unis, sous la référence n° 004-000-00345-4.

免責事項

Underwriter Laboratories Inc (以下「UL」)では、本機のセキュリティや信号伝送に関する性能や信頼性のテストは行っていません。ULは、ULの「*Standard(s) for Safety for Closed Circuit Television Equipment, UL 2044*」で規定している火災、衝撃、事故の危険性についてのみテストを行っています。ULの認証は、本機のセキュリティや信号伝送に関する性能や信頼性を保証するものではありません。

ULは、本機のセキュリティや信号伝送に関する機能の性能や信頼性に関して、一切の表明、保証、認証を提供しません。

免責事項

Underwriter Laboratories Inc (以下「UL」)では、本機のセキュリティや信号伝送に関する性能や信頼性のテストは行っていません。ULは、ULの「*Standard(s) for Safety for Information Technology Equipment, UL 60950-1*」で規定している火災、衝撃、事故の危険性についてのみテストを行っています。ULの認証は、本機のセキュリティや信号伝送に関する性能や信頼性を保証するものではありません。

ULは、本製品のセキュリティまたは信号出力関連の機能のパフォーマンスや信頼性に関して、一切の表明、保証、認証を提供しません。

著作権

本マニュアルは、Bosch Security Systemsの知的財産であり、著作権で保護されています。無断転載を禁じます。

商標

本書で使用されているすべてのハードウェアおよびソフトウェアの製品名は登録商標である可能性があります。このため、しかるべき方法で取り扱う必要があります。

注意

本マニュアルは細心の注意を払って作成されており、記載されている情報については十分な検証を行っています。テキストについては印刷の時点で誤字脱字がないことを確認しています。製品開発は継続的に進められているため、ユーザーガイドの内容は予告なく変更される場合があります。Bosch Security Systemsは、誤り、不完全な記述、またはユーザーガイドと対象製品の間の一貫性によって直接的または間接的に発生する損害について一切責任を負いません。

1.4 カスタマサポートおよびサービス

本機の修理が必要な場合、最寄りの Bosch Security Systems サービスセンターにご連絡いただき、修理手続きについて、ご確認ください。

サービスセンター

米国

修理センター -

電話 : 800-566-2283

FAX : 800-366-1329

E-メール : repair@us.bosch.com

カスタマーサービス

電話 : 888-289-0096

FAX : 585-223-9180

E-メール : security.sales@us.bosch.com

米国テクニカルサポート

電話 : 800-326-1450

FAX : 585-223-3508 または 717-735-6560

E-メール : technical.support@us.bosch.com

カナダ

電話 : 514-738-2434

FAX : 514-738-8480

ヨーロッパ、中東、アフリカ地域

修理センター

電話 : 31 (0) 76-5721500

FAX : 31 (0) 76-5721413

E-メール : RMADesk.STService@nl.bosch.com

アジア地域

修理センター

電話 : 65 63522776

FAX : 65 63521776

E-メール : rmahelpdesk@sg.bosch.com

カスタマーサービス

電話 : 86 (0) 756 7633117 または 86 (0) 756 7633121

FAX : 86 (0) 756 7631710

E-メール : customer.service@cn.bosch.com

保証、その他の情報

その他サポートに関する詳細情報や保証に関するお問い合わせは、日本国内 Bosch Security Systems 代理店、または Web サイト (www.jp.boschsecurity.com) にてお問い合わせください。

2 開梱

本機は慎重に取り扱う必要があります。十分に注意して開梱してください。製品出荷時に生じたと思われる損傷がある場合は、すぐに発送元までお問い合わせください。

下記のパーツ一覧に記載された付属品がすべて揃っていることを確認してください。不足品がある場合は、Bosch Security Systems の営業担当者またはカスタマーサービス担当者にお知らせください。この梱包箱は、この製品を輸送するうえで安全上最も適しています。修理のために製品を返送する際は必ずこの梱包箱を使用してください。梱包箱は大切に保管しておいてください。

2.1 パーツ一覧

数量	説明
1	次のカラー LED フラットパネルモニターのいずれか： UML-273-90、UML-323-90、UML-423-90、UML-553-90
1	設置マニュアル (印刷された冊子、英語版)
1	設置マニュアル (印刷された冊子、日本語版)
1	設置マニュアル (CD-ROM、多言語版)
2	アースプラグ付き 3 芯電源コード、1.8m (6ft) (米国仕様プラグ付き×1、欧州仕様プラグ付き×1)
1	DVI-D - DVI-D ケーブル、1.8m (6ft)
1	VGA - VGA (D-Sub) ケーブル、1.8m (6ft)
1	トリガーケーブル
1	リモート制御
2	単四電池

3 アクセスと接続

3.1 前面操作パネル

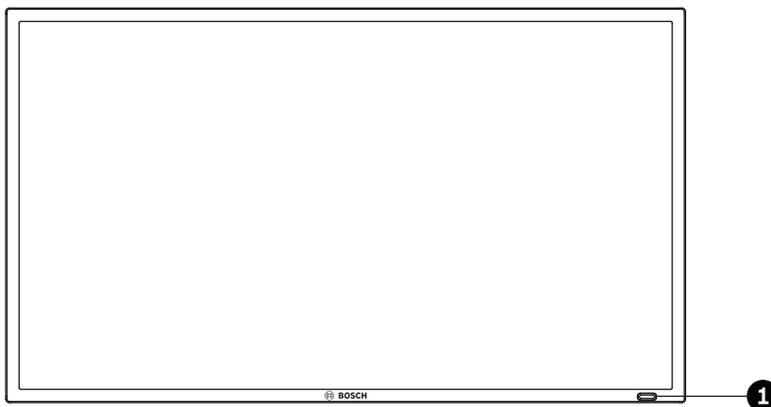


図 3.1: UML-273-90 / UML-323-90 / UML-423-90 / UML-553-90 前面パネル

番号	ボタン	説明
1	IR センサーおよび LED インジケータ	リモコンからのコマンド信号を受信します。モニターの動作状態 (電源オン (緑)、電源オフ、スタンバイ (赤)) を表します。

3.2 後面パネル

UML-273-90

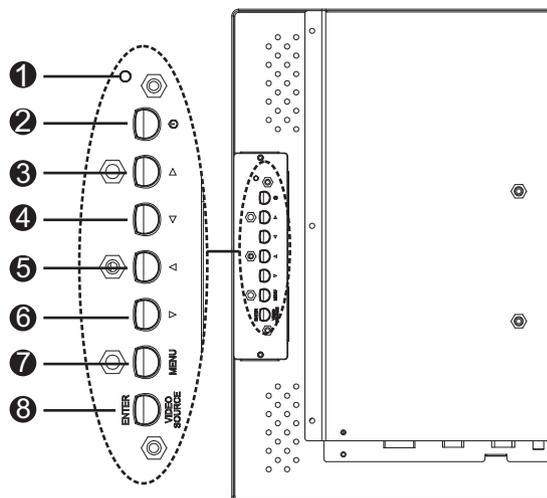


図 3.2: UML-273-90 後面パネル

UML-323-90

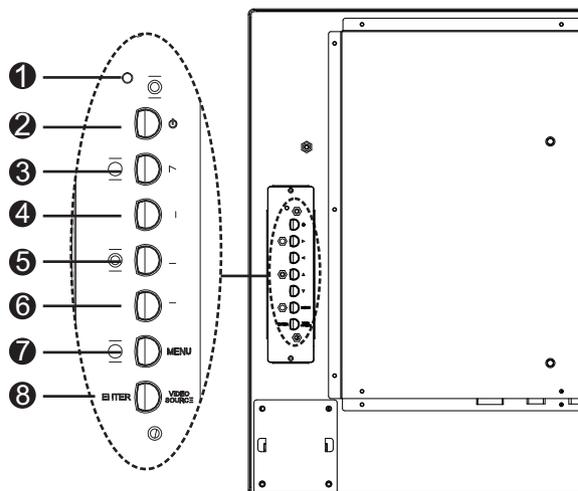


図 3.3: UML-323-90 後面パネル

UML-423-90

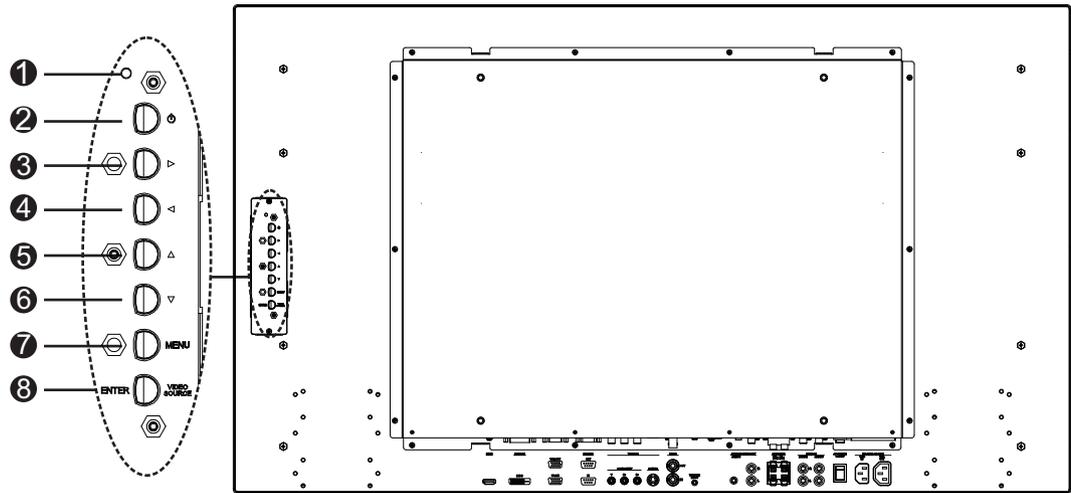


図 3.4: UML-423-90 後面パネル

UML-553-90

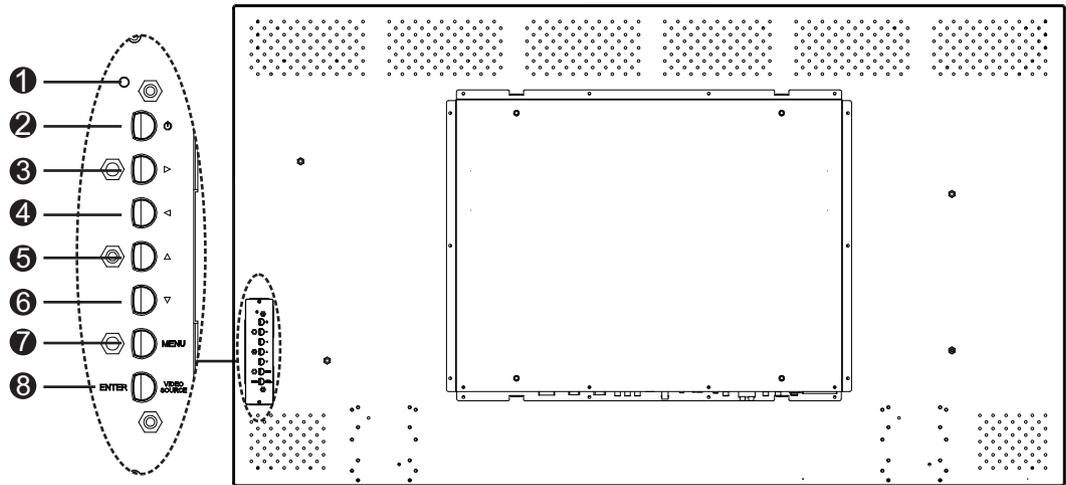


図 3.5: UML-553-90 後面パネル

番号	ボタン / 部品	説明	
1	LED インジケ ーター	モニターの動作状態を表します。 電源オン (緑) 電源オフ、スタンバイ (赤)	
2	電源	ディスプレイ電源 (オン / オフ)	
3		OSD で値を大きくします。 音量を大きくします。	OSD で右にスクロールします。
4		OSD で値を小さくします。 音量を小さくします。	OSD で左にスクロールします。
5		OSD で値を調整します。	OSD で上にスクロールします。
6		OSD で値を調整します。 PC モードのときに自動調整機能をア クティブにします。	OSD で下にスクロールします。
7	MENU	オンスクリーンディスプレイ (OSD) を選択します。	
8	VIDEO SOURCE/ ENTER	表示する信号を選択します。 OSD メニューの「入力」機能として動作します。	

3.3 底面パネル

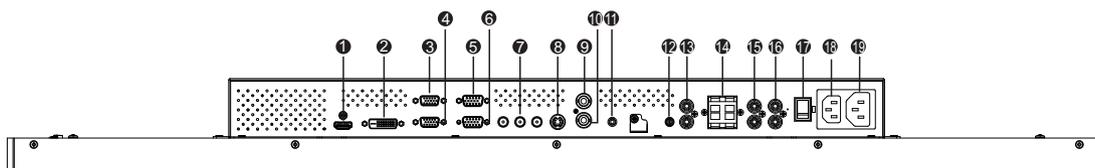


図 3.6: 底面図 (I/O パネル)

番号	コネクタ	番号	コネクタ
1	HDMI 入力	11	トリガー入力
2	DVI-D 入力	12	音声入力 - 音声 1
3	VGA 出力	13	音声出力 (R / L)
4	VGA 入力	14	スピーカー (R / L)
5	RS-232 出力 (ファームウェア更新用)	15	音声入力 - 音声 2
6	RS-232 入力 (ファームウェア更新用)	16	音声入力 - 音声 3
7	映像入力 - コンポーネント	17	AC スイッチオン / オフ
8	映像入力 - S ビデオ	18	AC100 ~ 240V 入力
9	映像出力	19	AC100 ~ 240V 出力
10	映像入力		

3.4 リモートコントロール

番号	ボタン	説明
1	POWER (電源)	電源のオン / オフを切り替えます。
2	Contrast (コントラスト)	画像のコントラストを調整します。
3	Backlight (バックライト)	LCD パネルのバックライトの輝度を調整します。
4	Color Tone (色温度)	画像の色温度を調整します。
5	Auto. Adj.(自動調整)	グラフィックスアダプターを自動調整します。
6	Info (情報)	選択した入力の設定を表示します。
7	Mute (消音)	消音します。
8	Auto Switching (自動切り替え)	自動切り替え機能を選択します。
9	PIP	ピクチャーインピクチャー (PIP) 機能を選択します。
10	YPbPr	YPbPr モードを選択します。
11	PC	PC モードを選択します。
12	AV 1	AV1 モードを選択します。
13	AV 2	機能なし
14	Input (入力)	表示する信号ソースを選択します。
15	Exit (終了)	OSD メニューを終了します。
16	(機能なし)	
17	矢印キー Enter	OSD 内でカーソルを下、上、左、および右に動かします。 OSD メニューで選択を確定します。
18	(機能なし)	
19	Brightness (輝度)	画像の明るさを調整します。
20	P. Mode (画像モード)	画像モードを選択します。 選択を変更するには、ボタンを押し続けます。
21	サイズ	映像モードで画面の縦横比を選択します。 選択を変更するには、ボタンを押します。
22	Trigger (トリガー)	トリガー機能を選択します。
23	HDMI	HDMI モードを選択します。
24	DVI2	機能なし
25	DVI1	DVI1 モードを選択します。

26	S ビデオ	S ビデオモードを選択します。
27	MENU	OSD メインメニューを表示します。OSD メニューのどこからでもメインメニューに戻ることができます。
28	(機能なし)	

3.5 リモコンへの電池の装着

1. リモコンを裏返し (ボタンが付いている側を下に向け)、カバーを下の方へスライドさせて外します。
2. 新品の 2 本の単四アルカリ電池を (+) と (-) の記号に合わせて装着します。
3. 電池カバーを下側からスライドさせて戻します。

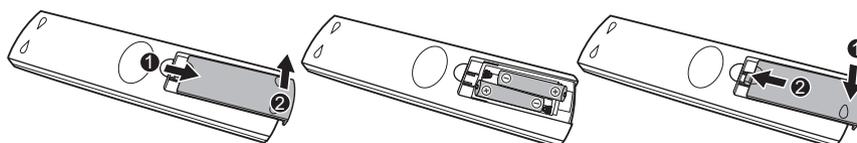


図 3.7: リモコンの電池交換

注意：電池は、必要に応じて、または 1 年に 1 回は交換してください。使用済みの電池は適切な方法で廃棄してください。

4 説明

Bosch の高性能 LCD モニターは、防犯カメラシステムの PAL または NTSC 標準カラー映像を表示できます。1 つのループコンポジット映像 BNC コネクタ入力、1 つのコンポーネント映像 BNC コネクタ入力、3 つの音声入力 RCA、4 ピンミニ DIN を使用した 1 つの Y/C (S ビデオ) 入力を備えています。さらに、いずれのモデルも、15 ピン D-sub を使用したアナログ VGA 入力、HDMI (高解像度マルチメディアインターフェース) 入力、DVI、PC-RGB (VGA) コネクタも備え、セキュリティ用途での利用が増加している PC やデジタルビデオデバイスに対応しています。

モニターの制御機能には、プッシュボタンとオンスクリーンディスプレイ (OSD) からアクセスできます。前面パネルの説明については、アクセスと接続、ページ 12 を参照してください。

4.1 特長

- 27 インチ、32 インチ、42 インチ、および 55 インチモデル
- NTSC / PAL 自動検出
- VGA 入力
 - 640×480 (60 / 72 / 75Hz)
 - 720×400 (70Hz)
 - 800×600 (60 / 75Hz)
 - 1024×768 (60 / 75Hz)
 - 1280×768 (60Hz)
 - 1280×960 (60Hz)
 - 1280×1024 (60Hz)
 - 1366×768 (60Hz)
 - 1600×1200 (60Hz)
 - 1920×1080 (60Hz)
- コンポジット映像入力
- コンポーネント映像入力
- Y/C 入力 (S ビデオ)
- DVI 入力
- HDMI 入力 (480i 60Hz、480p 60Hz、576i 50Hz、576p 50Hz、720p 50 / 60Hz、1080i 50 / 60Hz、1080p 50 / 60Hz)
- トリガー入力
- 多言語対応のオンスクリーンディスプレイ (OSD)

4.2 電源

モデル番号	定格電圧	電圧範囲	定格電圧での消費電力	同期形式
UML-273-90	AC 120 / 230V 50 / 60Hz	100 ~ 240V	75W 未満	NTSC / PAL
UML-323-90	AC 120 / 230V 50 / 60Hz	100 ~ 240V	75W 未満	NTSC / PAL

モデル番号	定格電圧	電圧範囲	定格電圧での消費電力	同期形式
UML-423-90	AC 120 / 230V 50 / 60Hz	100 ~ 240V	150W 未満	NTSC / PAL
UML-553-90	AC 120 / 230V 50 / 60Hz	100 ~ 240V	170W 未満	NTSC / PAL

5 モニターの設置

この章では、モニターの設置手順の概要を説明します。モニターの設置は、有資格のサービス担当者が地域の法規に従って実施する必要があります。

5.1 換気

過熱を防ぐために、モニターの背面にある換気口をふさがないでください。

5.2 電源接続

Bosch フラットパネル CCTV モニターには、米国仕様の 3 極電源コードと、欧州仕様の 3 極電源コードが付属しています。電源が AC 120V、60Hz の場合は米国仕様の電源コード、電源が AC 230V、50Hz の場合は欧州仕様の電源コードを使用してください。このモニターは、いずれの電源入力電圧にも自動的に対応します。

5.3 コンポジット映像信号の入力

モニターの後面パネルには、コンポジット映像入力用の BNC コネクタとコンポジット映像出力用の BNC コネクタがそれぞれ 1 つあります (後面パネル, ページ 13 を参照)。

注意: すべての映像入力はパッシブループスルーです。単一接続モードでは、入力コネクタへの信号入力により、インピーダンスが自動的に 75Ω に設定されます (、ページ 24 を参照)。出力コネクタと別のモニターをケーブルで接続すると、パッシブループスルー機能により、接続先のモニターに映像信号を送ることができます。この方法で最大 3 台のモニターを接続できます (、ページ 24 を参照)。

注意: AV1 を選択するには、モニターの前面にある [VIDEO SOURCE/ENTER] ボタンを押してから、上矢印ボタンまたは下矢印ボタンを押します。

5.4 Y/C (S ビデオ) 信号のモニターへの接続

後部側面パネルには、S ビデオ (Y/C) 入力用のミニ DIN コネクタが 1 つあります (後面パネル, ページ 13 を参照)。

注意: Y 入力と C 入力は、いずれも 75Ω 抵抗で終端されます。

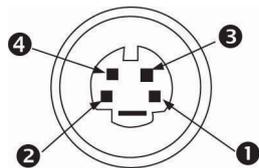


図 5.1: Y/C 接続ピン配列

番号	入力
1	アース
2	アース
3	Y 信号
4	C 信号

5.5 音声のモニター接続

後面パネルには、音声入力用のステレオ音声コネクタが 3 セットあります。この音声入力は、後面パネルのどの入力端子にも関連付けられておらず、任意の音声入力に自由に接続できます。

5.6 PC 信号をモニターに接続する

PC 信号をモニターに接続するには、HDMI、DVI、VGA の 3 種類の方法があります。

5.6.1

HDMI 接続

このモニターは、HDMI ケーブル (別売) で HDMI (高解像度マルチメディアインターフェース) 入力に接続できます。



図 5.2: HDMI 入力

5.6.2

DVI 接続

このモニターは、付属の DVI-D ケーブルでデジタル DVI-D 信号に接続できます。



図 5.3: DVI 入力

5.6.3

VGA 接続

後面パネルにある VGA コネクタと VGA ケーブル (D-SUB - D-SUB) を使用して、PC 信号をモニターに接続できます。



図 5.4: VGA 入力

ピン	説明	ピン	説明	ピン	説明
1	映像 (赤)	6	アース (赤)	11	アース
2	映像 (緑)	7	アース (緑)	12	SDA (DDC 用)
3	映像 (青)	8	アース (青)	13	H-Sync または H+V Sync
4	アース	9	N/A	14	V-Sync
5	アース	10	信号ケーブル検出	15	SCL (DDC 用)

5.7

アラームトリガーの接続

モニターには、アラームトリガー入力があり、トリガーケーブルが付属しています。これにより、カメラやドアなどのデバイスからのアラームリレーを接続できます。トリガーケーブルの 2 本のフライングリードをデバイスのリレー出力ポートに接続します。次に、ケーブルのもう一方の端をモニターのトリガー入力コネクタに接続します。次の図に、一般的なアラームリレー構成を示します。

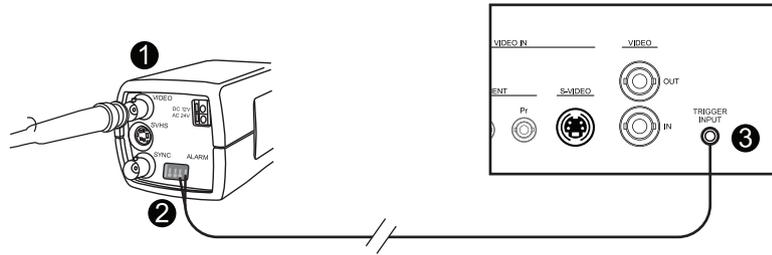


図 5.5: カメラからモニターへのリレー

番号	説明
1	Dinion カメラ
2	フライングリードをトリガー出力 3 と 4 に接続
3	UML 後面パネル

上記の例では、トリガーケーブルのフライングリードが Dinion カメラのトリガー出力 3 および 4 に接続されています。ケーブルが UML モニターの後面パネルに接続され、ワイヤのプラグ端がトリガー入力ポートに接続されています。アラームの確認の設定については、[設定]メニュー、ページ 37 を参照してください。

例：一般的なアラームトリガー構成

この例では、動体検出に Dinion カメラが使用されています。カメラが動体を検出すると、UML モニターにアラームを送信します。アラームを受信すると、モニターは入力を切り替えて Dinion カメラからの映像を表示し、ブザーを鳴らします。

- Dinion 映像出力からの同軸ケーブルを UML モニターの AV1 入力に接続します。
- Dinion カメラは次のように設定します。
VMD : OSD
Area : 1
Active : On
- 一方のフライングリードを Dinion カメラ後面のリレー出力 3 に接続し、他方のフライングリードをリレー出力 4 に接続します。
- トリガーリレーケーブルのもう一方の端をモニターの後面にあるトリガー入力コネクタに接続します。
- モニターを電源コンセントに接続し、電源ボタンを押します。
- モニターで、次のようにして [トリガー] メニューにアクセスします。
[Menu] ボタンを押します。
下矢印ボタンを押して [設定] メニューにアクセスします。
右矢印ボタンを押して [設定] メニューを開きます。
下矢印ボタンを押し続け、[トリガー] がハイライト表示されたら右矢印ボタンを押します。
- 次の設定に合わせて [トリガー] メニューで必要な変更を行います。

画像		
 	トリガー有効	オン
	トリガー入力	AV1
	ブザー	オン
	トリガー時間	10
	トリガーオプション	高
: 移動	: 入力	: 終了

5.8 シングル / マルチモニター構成

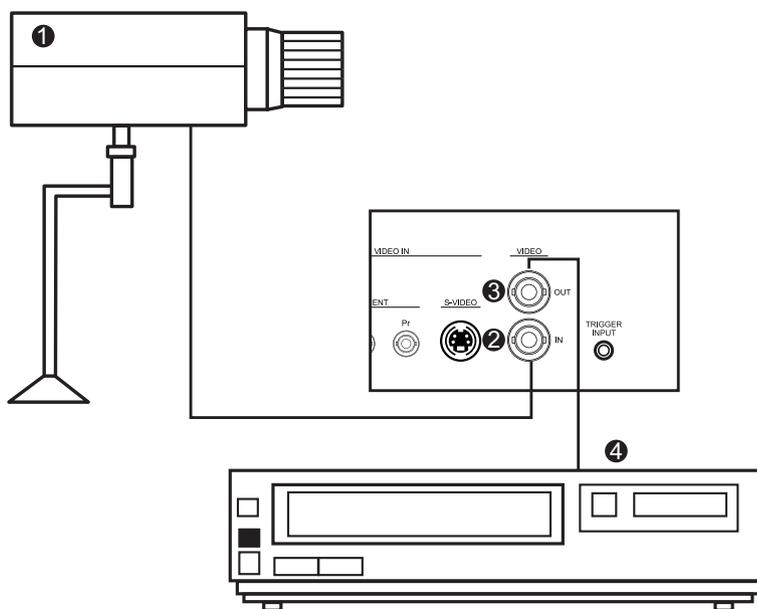


図 5.6: シングルモニター構成

番号	説明	番号	説明
1	ビデオカメラ	3	映像出力
2	映像入力	4	DVR

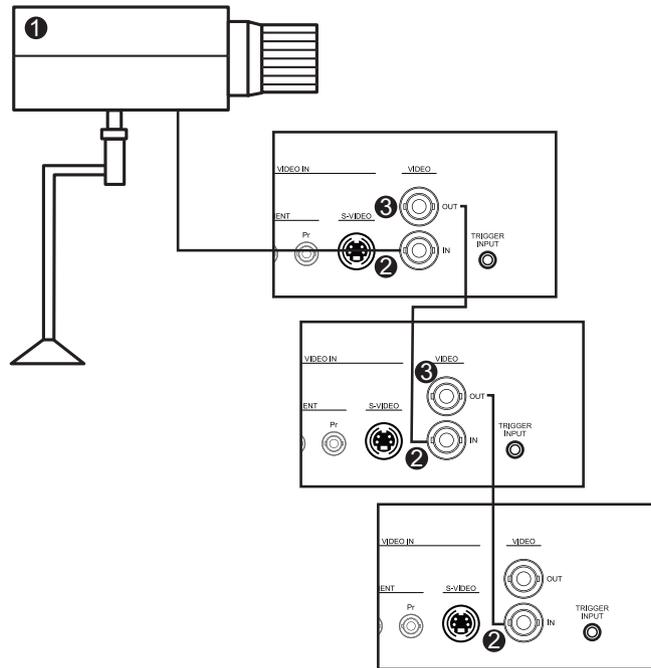


図 5.7: マルチモニター構成

番号	説明
1	ビデオカメラ
2	映像入力
3	映像出力

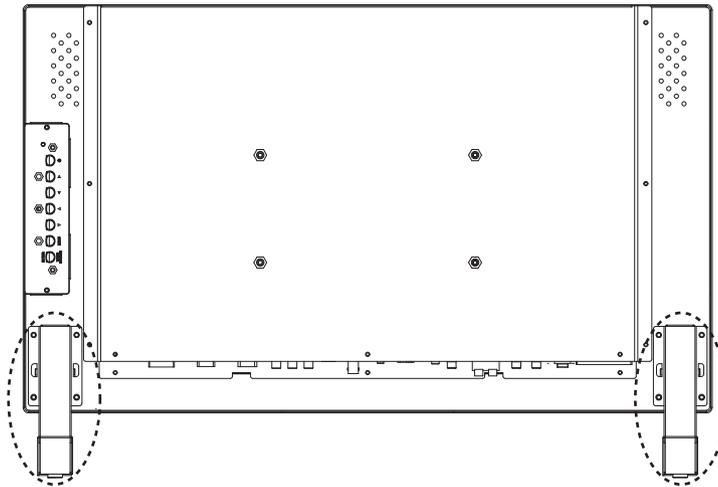
5.9 アクセサリの取り付け

モニターは卓上に設置することも、別売りの取付アクセサリを使用して壁に取り付けることもできます。詳細については、Bosch Security Systems, Inc.の Web サイトにアクセスするか、お住まいの地域のカスタマーサポート担当者までお問い合わせください。

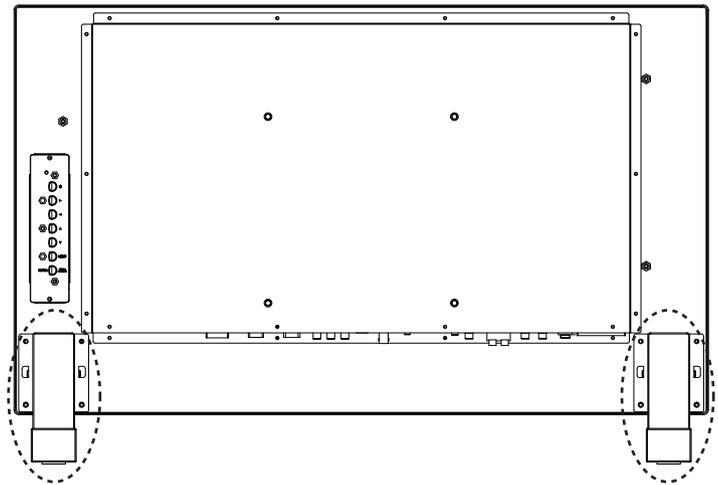
5.9.1 モニターの卓上への設置

以下の図に、卓上用途向けにオプションスタンドをモニターの後面パネルに取り付ける方法を示します。

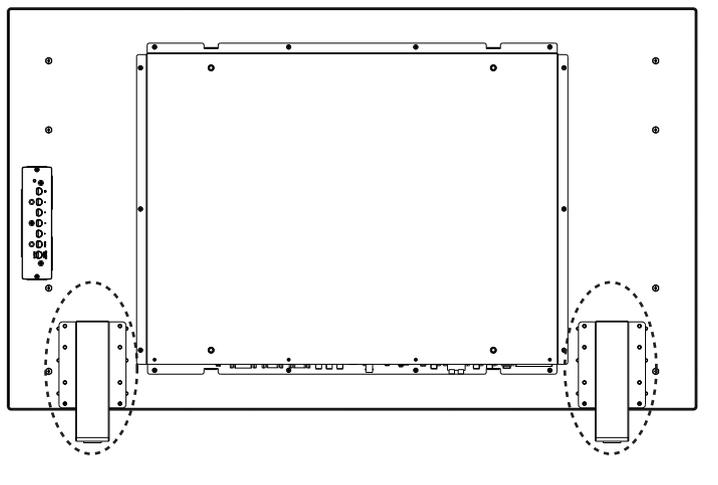
UML-273-90



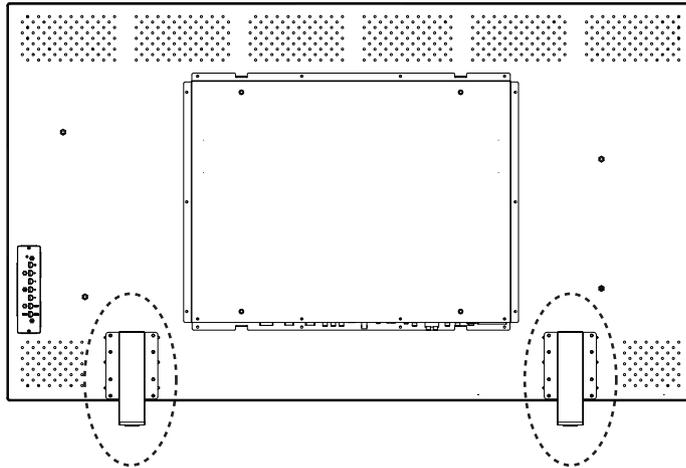
UML-323-90



UML-423-90



UML-553-90



5.9.2

モニターの壁面への取り付け

このモニターは、取付穴と適切な壁掛けブラケットまたはスウィーベル / チルトブラケットを使用して、壁面に取り付けることができます。UL リストの取り付け工具を使用します。取り付け部分に、次のモニター重量に耐えられるだけの十分な強度があることを確認します。

- UML-273-90 : 12.35kg (27.23lb)
- UML-323-90 : 12.5kg (27.6lb)
- UML-423-90 : 20kg (44.1lbs)
- UML-553-90 : 32kg (70.5lbs)

取付穴の寸法については、以下の図を参照してください。

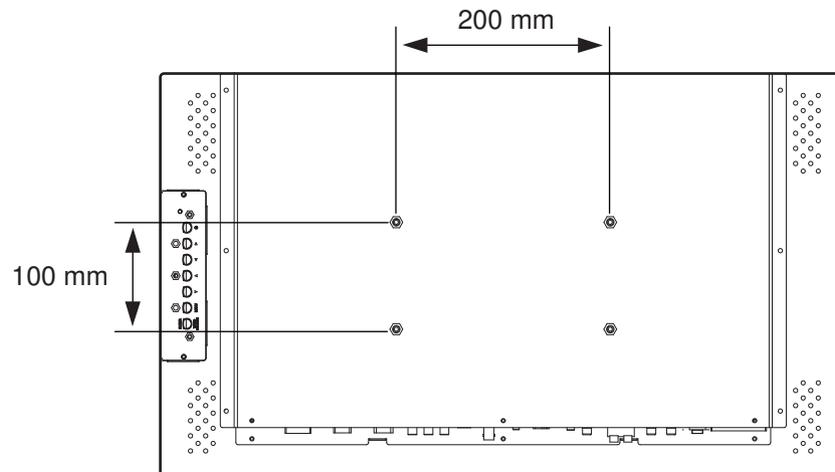


図 5.8: UML-273-90 – 取付穴の位置

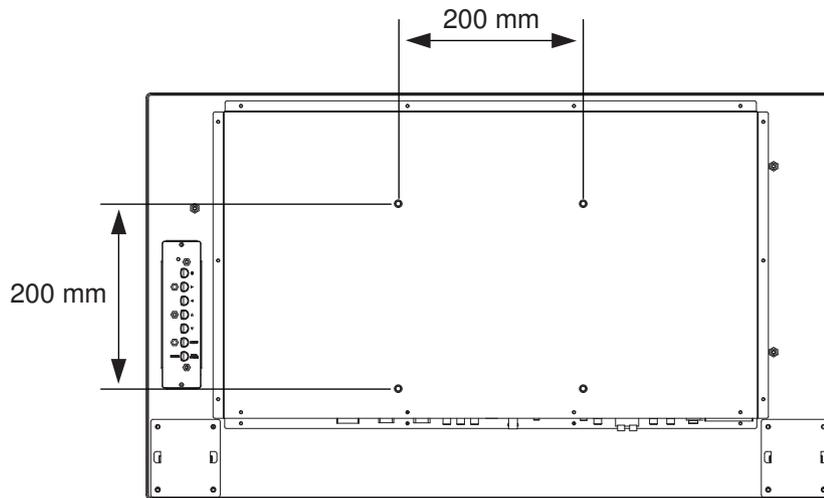


図 5.9: UML-323-90 – 取付穴の位置

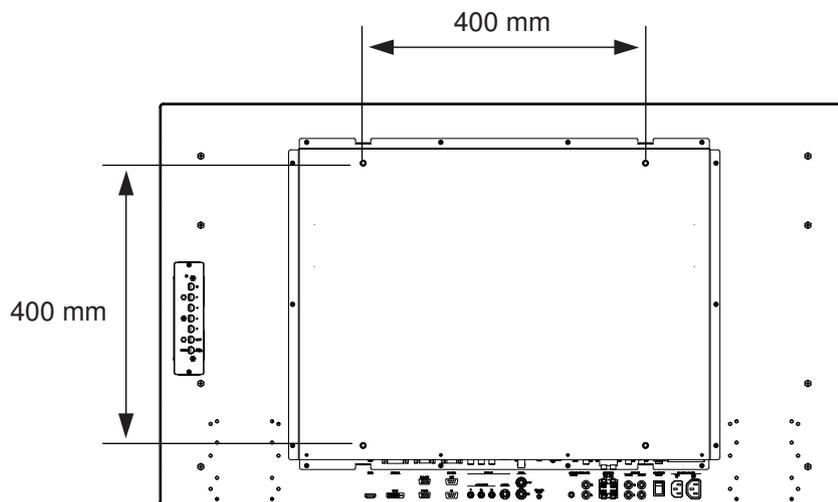


図 5.10: UML-423-90 – 取付穴の位置

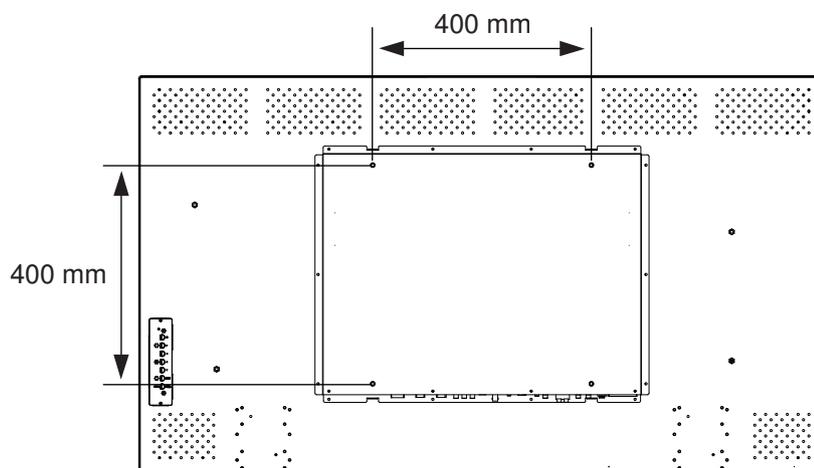


図 5.11: UML-553-90 – 取付穴の位置

6 モニターの操作

6.1 操作パネルの操作

操作パネルを使用して、OSD での必要な調整を行います。操作パネルの説明については下図を参照してください。

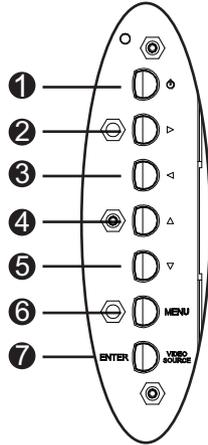


図 6.1: 操作パネルのボタン

番号	ボタン	説明	
1	電源	ディスプレイ電源 (オン / オフ) 入力音声信号から音を生成します。	
2		OSD で値を大きくします。 音量を大きくします。	OSD で右にスクロールします。
3		OSD で値を小さくします。 音量を小さくします。	OSD で左にスクロールします。
4		OSD で値を調整します。	OSD で上にスクロールします。
5		OSD で値を調整します。 PC モードで自動調整します。	OSD で下にスクロールします。
6	Menu	オンスクリーンディスプレイ (OSD) を選択します。	
7	VIDEO SOURCE/ENTER	表示する信号を選択します OSD メニューの「入力」機能として動作します。	

6.2 モニターのオンスクリーンディスプレイ (OSD) の使用

LCD は、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューおよびサブメニューで動作パラメーターを選択することによってプログラムします。OSD メニューにアクセスするには、操作パネルにある [Menu] ボタンを押します。これらのコントロールを使用して、OSD での必要な調整を行います。



注意!

OSD メニューの操作中は、[SOURCE] ボタンまたは [ENTER] ボタンを使用してメニューを選択し、[MENU] ボタンを使用してメニューを終了します。

セットアップメニューを操作するには、次の手順に従います。

1. 映像ソースケーブルをモニターに接続します。
2. 電源ボタンを押してモニターの電源をオンにします。
3. 信号が表示されるまで、必要に応じて [SOURCE] ボタンまたは [ENTER] ボタンを押し、上下の矢印ボタンを押します。
4. メインメニューの選択を確定するには、[Menu] ボタンを押します。
5. 上下の矢印ボタンを押して、メニューを選択します。
6. 右矢印ボタンを押して、選択したメニューを開きます。
7. 上下の矢印ボタンを押して、サブメニュー項目を選択します。
8. OSD 値を切り替えるには、左右の矢印ボタンを押します。
9. [Menu] ボタンを押して、選択したメニューを終了してメニューバーに戻るか、選択を確定します。
10. OSD メニューバーを終了するには、もう一度 [Menu] ボタンを押します。

6.3

オンスクリーンディスプレイメニュー

4 つのオンスクリーンメニューがあり、各メニューで設定をカスタマイズできます。OSD メニューにアクセスするには、[Menu] ボタンを押します。

アイコン	メニュー	機能
	画像	画質に関連する設定を調整します (メニューオプションは、入力信号で異なります)。
	音声	音声に関連する設定を調整します (メニューオプションは映像モードと PC モードで異なります)。
	オプション	[アスペクト比]、[PIP]、[映像ソース]、[自動調整]、[クロック周波数]、[フェーズ]、[横位置]、[縦位置]、[周囲の光量センサー]、[自動検出] 設定を調整します。
	設定	工場出荷時のデフォルト設定にリセットしたり、モニター全体の設定を調整したりします。

注意：一部の OSD メニュー機能は、検出された入力ソースによっては使用できないことがあります。

6.4 [画像] メニュー

[画像] メニューにアクセスするには、モニターの前面パネルにある [Menu] ボタンを押し、上下の矢印ボタンを押して [画像] アイコンを選択します。左矢印ボタンを押してメニューを開き、上下の矢印ボタンを押してサブメニューを選択します。設定が完了したら、[Menu] ボタンを押して変更を保存し、再度 [Menu] ボタンを押して OSD を終了します。

画像		
   	画像モード	標準
	コントラスト	50
	輝度	50
	色	50
	色合い	50
	シャープネス	5
	バックライト	100
	DCR	オフ
	色温度	9300°K
	入力解像度	
ブルースクリーン	オン	
 : 移動	 : 入力	 : 終了

サブメニュー	定義
画像モード	自動映像制御モードを選択します。次のいずれかを選択できます。 [標準]: 初期設定を適用します。 [鮮やか]: 非常に明るいイメージの表示に適しています。 [シネマ]: 動画の視聴に適しています。 [ユーザー]: 独自の画像設定を作成します。 [画像] メニューで設定を変更すると、このモードが自動的に選択されます。
コントラスト	映像のコントラストを調整します (範囲 : 0 ~ 100)。
輝度	映像の輝度 (明るさ) を調整します (範囲は 0 ~ 100)。
色	画面の全体的な彩度を調整します (範囲 : 0 ~ 100)。
色合い	画像の色合いを調整します (範囲 : 0 ~ 100)。NTSC のみ。
シャープネス	映像のシャープネスレベルを調整します (範囲 : 0 ~ 100)。
DCR	この機能をオンにすると、暗いシーンを表示する場合にイメージコントラストを強調できます。
色温度	色温度を選択します。次のいずれかを選択できます。 - [12000°K] [9300°K] [6500°K] - ユーザーが選択できるオプション : [赤] [緑] [青] (範囲 0 ~ 255)

入力解像度	VGA の入力解像度を設定します。モニターが VGA の入力解像度を正しく検出できない場合、この設定が必要になります。 [オート] [1366×768] [1360×768] [1280×768] のいずれかを選択できます。
ブルースクリーン	映像ロス表示を有効または無効にします。次のいずれかを選択できます。 <ul style="list-style-type: none">- [オン]: 映像ロスが検出された場合、青色の背景を表示します。- [オフ]: 映像ロスが検出された場合、黒色の背景を表示します。

6.5 [音声] メニュー

[音声] メニューにアクセスするには、モニターの操作パネルにある [Menu] ボタンを押し、上下の矢印ボタンを押して [音声] アイコンを選択します。左矢印ボタンを押してメニューを開き、上下の矢印ボタンを押してサブメニューを選択します。設定が完了したら、[Menu] ボタンを押して変更を保存し、再度 [Menu] ボタンを押して OSD を終了します。

音声		
   	音量	100
	消音	オフ
	音源	音声 2
	スピーカー	外部
 : 移動	 : 入力	 : 終了

サブメニュー	定義
音量	内蔵スピーカーの音量を調整します (範囲 : 0 ~ 100)。
消音	音声のオン / オフを切り替えます。 [オン]、[オフ] のいずれかを選択できます。
音源	音声入力ソースを選択します。 [音声 1] (音声入力 IN コネクターからの音声信号)、[HDMI] (HDMI コネクターからの音声信号) のいずれかを選択できます。
スピーカー	外部スピーカー、外部音声デバイス (接続されている場合)、内蔵 (内部) スピーカーのいずれかを使用して音声を再生するか、モニターを設定します。 [外部]、[ライン出力]、[内部] のいずれかを選択できます。

6.6 [オプション] メニュー

[オプション] メニューにアクセスするには、モニターの操作パネルにある [Menu] ボタンを押し、上下の矢印ボタンを押して [オプション] アイコンを選択します。左矢印ボタンを押してメニューを開き、上下の矢印ボタンを押してサブメニューを選択します。設定が完了したら、[Menu] ボタンを押して変更を保存し、再度 [Menu] ボタンを押して OSD を終了します。

オプション		
	アスペクト比	全画面
	PIP	
	映像ソース	AV
	自動調整	外部
	クロック周波数	
	フェーズ	
	横位置	
	縦位置	
	周囲の光量センサー	
	自動検出	
	: 移動	
	: 入力	
	: 終了	

サブメニュー	定義
アスペクト比	アスペクト比モードを選択します。 [全画面] [標準] のいずれかを選択できます。
PIP	PIP に関連する設定を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> - [PIP 有効]: PIP 機能をアクティブにします。 - [メイン入力] と [サブ入力]: メイン画面とサブ画面の映像入力ソースを選択します。使用できる入力ソースの組み合わせについては、<i>使用できる PIP</i>, ページ 36 を参照してください。 - [PIP サイズ]: サブ画面のサイズを選択します。 [大] [小] のいずれかを選択できます。 - [PIP ポジション]: メイン画面上のサブ画面の位置を調整します。矢印ボタンを押して調整します。
映像ソース	映像入力ソースを選択します。 [AV] [S ビデオ] [VGA] [YPbPr] [DVI] [HDMI] のいずれかを選択できます。
自動調整	画面をグラフィックスアダプターに自動的に同期させます。
クロック周波数	モニターのクロック周波数を調整します (範囲 : 0 ~ 31)。
フェーズ	モニターのフェーズ範囲を調整します (範囲 : 0 ~ 31)。

横位置	モニターの横位置を調整します (範囲 : 0 ~ 31)。
縦位置	モニターの縦位置を調整します (範囲 : 0 ~ 31)。
周囲の光量センサー	周囲の光量センサーを設定します。この機能が有効な場合、周囲の光量が変わると、モニターによってイメージの輝度が自動的に調整されます。 [高]、[低]、[オフ] のいずれかを選択できます。
自動検出	モニターが使用可能な入力信号に応じて自動的に切り替わり、その入力信号が表示されます。

6.6.1

使用できる PIP

下の表に、PIP 機能で使用できる入力ソースの組み合わせをまとめてあります (「+」は使用できる組み合わせ、ブランクのセルは使用できない組み合わせを示しています)。

		メイン画面の入力ソース					
		AV	S ビデオ	コンポーネント	PC	DVI	HDMI
サブ画面	AV					+	+
	S ビデオ					+	+
	コンポーネント					+	+
	PC						
	DVI	+	+	+			
	HDMI	+	+	+			

6.7 [設定] メニュー

[設定] メニューにアクセスするには、モニターの操作パネルにある [Menu] ボタンを押し、上下の矢印ボタンを押して [設定] アイコンを選択します。左矢印ボタンを押してメニューを開き、上下の矢印ボタンを押してサブメニューを選択します。設定が完了したら、[Menu] ボタンを押して変更を保存し、再度 [Menu] ボタンを押して OSD を終了します。

設定		
   	言語	英語
	オーバースキャン	オフ
	キーロック	オフ
	トリガー	
	スケジュール	
	壁面ディスプレイ	
	パワーセーブ	オフ
	モニター ID の設定	1
	画面焼きつき防止	オン
	自動調整	オン
	詳細設定	
 : 移動	 : 入力	 : 終了

サブメニュー	定義
言語	OSD の言語を選択します。 [英語] [フランス語] [スペイン語] [オランダ語] [ドイツ語] [イタリア語] [ポルトガル語] [ロシア語] [ポーランド語] [簡体字中国語] [日本語] のいずれかを選択できます。
オーバースキャン	映像 (非 PC) 信号を表示しているときに、オーバースキャン機能をオンまたはオフにします。
キーロック	キーロック機能を有効または無効にします。
トリガー	トリガー機能を有効または無効にします。有効にした場合、トリガー設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> - [トリガー有効]: トリガー機能を [オン] または [オフ] にします。 - [トリガー入力]: トリガー信号を受信した際に表示する入力信号ソースを選択します。 - [ブザー]: トリガースピーカーを [オン] または [オフ] にします。 - [トリガー時間]: トリガー入力 (トリガー入力機能で設定) を表示する時間の長さを設定します。設定した時間が経過すると、モニターは最後に表示していた入力に自動的に切り替わります。 - [トリガーオプション]: トリガー信号の種類を、[N/C] (通常閉)、[N/O] (通常開)、[高] (2 ~ 5V)、[低] (0 ~ 0.6V) のいずれかに設定します。

スケジュール	<p>この機能では、スケジュールとして、最大7つの異なる時間帯をモニターにプログラミングできます。指定できる設定は、モニターをオンにする時刻とオフにする時刻、モニターをアクティブにする曜日、スケジュールを設定してアクティブにした期間中にディスプレイで使用する入力ソースなどです。</p> <ul style="list-style-type: none"> - [日付と時刻]: スケジュール機能を使用する前に、モニターの内部クロックの現在の日時を設定します。[年] [月] [日] [時] [分] [サマータイム] のいずれかを選択できます。一度設定すると、このメニューには現在の日時が表示されます。 - [スケジュール]: 異なる映像入力モードでスケジュールの時間帯を最大7つ設定します。 <p>注意:</p> <ul style="list-style-type: none"> - 電源オンの時刻を使用しない場合は、電源オンの時間スロットで [--] を選択し、分スロットで [00] を選択します。モニターは設定した時間のみ電源がオフになります。 - 電源オフの時刻を使用しない場合は、電源オフの時間スロットで [--] を選択し、分スロットで [00] を選択します。ディスプレイは指定した時間のみ電源がオンになります。 - 入力ソースが選択されていない場合、デフォルトの入力ソース (映像) が使用されます。 - [毎日] が選択されている場合、その他の曜日設定 (たとえば、[月] [火] [水] ...) にかかわらず、モニターは毎日オンになります。 - スケジュールの時間帯が重複している場合、電源オンの時間が電源オフの時間より優先されます。たとえば、スケジュール項目#1 ではモニターの電源オンを午前 10:00、電源オフを午後 5:00 と設定していて、スケジュール項目#2 では電源オンを同じ日の午後 4:00、電源オフを午後 9:00 と設定している場合、モニターは午前 10:00 に電源がオン、午後 9:00 に電源がオフになります。 - 同じ時間帯に複数のスケジュール項目がプログラミングされている場合、最も高い位置にある番号のスケジュール項目が優先されます。たとえば、スケジュール項目#1 と#2 の両方で、ディスプレイの電源オンが午前 7:00、電源オフが午後 5:00 に設定されている場合、スケジュール項目#1 のみが適用されます。
壁面ディスプレイ	<p>複数のモニターを並べて映像表示ウォールを形成している場合は、この機能を使用して壁面ディスプレイの設定を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> - [H モニター]: 横方向のディスプレイ数を選択します (範囲: 1~10)。 - [V モニター]: 縦方向のディスプレイ数を選択します (範囲: 1~10)。 - [横位置]: 壁面ディスプレイマトリックスにおけるモニターの横方向の位置を選択します (範囲: 1~10)。 - [縦位置]: 壁面ディスプレイマトリックスにおけるモニターの縦方向の位置を選択します (範囲: 1~10)。 - [フレーム補正]: フレーム補正のオン / オフを切り替えます。オンの場合、イメージを正確に表示するために、モニターはイメージを調整してベゼルの幅の分を補正します。

パワーセーブ	<p>消費電力を削減するようにモニターを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - [エコ]: すべてのソースがパワーセーブモードへの切り替えに対応しますが、VGA 信号のみがモニターのウェイクアップに対応します。他のソースを接続している場合は、モニターのウェイクアップのために、電源ボタンを押す必要があります。 - [標準]: すべてのソースがパワーセーブモードへの切り替えとモニターのウェイクアップに対応します。 - [オフ]: ソースが検出されない場合、バックライトはオンの状態で維持されます。 - [VGA のみ]: VGA 信号のみがパワーセーブモードへの切り替えとモニターのウェイクアップに対応します。
モニター ID の設定	<p>RS 232 接続経由でモニターを制御するための ID 番号を設定します。複数のモニターを接続する場合、各モニターは一意の ID 番号でなければなりません。各モニターの ID は、マトリックス内の位置で定義されます (最上段の左から始まり、右へ進みます)。左上のモニターの ID は 1 になります。段の最後に達すると、次の番号は 1 段下の左端のモニターを指すこととなります。</p>
画面焼きつき防止	<p>オンにすると、LCD モニターは画面上への画面焼きつきを防ぐために、自動的にすばやく動くパターンを表示します。</p>
自動調整	<p>画面とグラフィックスアダプターをモニターで自動的に同期させる機能を、オンまたはオフに切り替えます。</p>
詳細設定	<ul style="list-style-type: none"> - [ユーザー初期設定を元に戻す]: 初期設定に戻します。 - [OSD 情報ボックス]: [オン] の場合、モニターには常時、現在の入力ソースと解像度が表示されます。リモコンで [Info] を押した場合のみ情報ボックスを表示するには、[オフ] を選択します。 - [温度 (°C)]: ディスプレイ内部の発熱状態 (温度) を表示します。 - [周囲の光量 (Lux)]: ディスプレイのセンサーが検出した周囲の明るさを表示します。 - [5V 検出 (V)]: 5V 電圧の検出結果を表示します。 - [12V 検出 (V)]: 12V 電圧の検出結果を表示します。 - [動作時間 (日数および時間)]: ディスプレイがオンになっている時間を表示します。 - [入力ソース]: 選択されている入力ソースを表示します。

注意!



前面パネルでキーロックが有効になっている場合、キーロックコマンドを無効にするには、前面パネルのボタンを使用します。前面パネルのボタンを使用してキーロック機能を無効にするには、モニターに「キーロック解除中」というメッセージが表示されるまで、[INPUT] (または [ENTER]) ボタンと [MENU] ボタンの両方を押し続けます。

7 電源管理

このモニターには電源管理システムが内蔵されており、DPMS ビデオカードから DPMS (Display Power Management Signaling) を受信すると、電源がオフになります。

DPMS 準拠のビデオカードは、水平信号、垂直信号、または同期信号を送信しないことにより、この信号システムを実行します。

モニターは、信号システムの 3 つのモードを識別することにより、適切なモードに切り替わります。

7.1 消費電力

モード	消費電力			
	UML-273-90	UML-323-90	UML-423-90	UML-553-90
オン	75W	75W	150W	170W
ACTIVE OFF	0.5W	0.5W	0.5W	0.5W

7.2 LED インジケータ

このモニターの電源管理機能は、次の段階で構成されます。

モード	LED の色	モニターの動作
ON	緑	通常動作
UNSUPPORTED MODE	緑	通常動作ですが、画面にエラーメッセージが表示されています。
POWER OFF	赤	動作停止

8 トラブルシューティング

問題	解決方法
映像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> - モニターの電源コードが、コンセントまたはアースされた延長ケーブルやストリップにしっかり接続されていることを確認してください。 - 電源スイッチがオンの位置にあり、LED が点灯している必要があります。 - ディスプレイの明るさやコントラストが最低レベルに設定されていないことを確認してください。
PC モードで映像が中央に表示されない、小さすぎる、大きすぎる	<p>下矢印キーを押して自動調整機能をアクティブにします。 または [PC OSD] サブメニューで [周波数] と [フェーズ] を調整します。</p>
映像に縦方向または横方向のノイズが出る。	<p>下矢印キーを押して自動調整機能をアクティブにします。 または [PC OSD] サブメニューで [周波数] と [フェーズ] を調整します。</p>
色が正しく表示されない	<p>[色調] メニューで色温度を選択します。 または リセット機能を使用してデフォルト設定に戻します。</p>
「範囲外」というエラーメッセージが表示される。	<p>PC がモニターによってサポートされていない解像度またはタイミングモードで動作しています。PC のタイミングモードを次の有効な組み合わせのいずれかに変更してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 640×480 (60/72/75Hz) - 720×400 (70Hz) - 800×600 (60/75Hz) - 1024×768 (60/75Hz) - 1280×768 (60Hz) - 1280×960 (60Hz) - 1280×1024 (60Hz) - 1366×768 (60Hz) - 1600×1200 (60Hz) - 1920×1080 (60Hz)

9 メンテナンス

LCD パネルに水滴やオイルが付いたときには、すぐに脱脂綿または柔らかい布で拭き取ってください。長時間放置すると、汚れが付着したり変色したりすることがあります。LCD パネルの表面 (偏光板) に汚れや染みが残った場合は、脱脂綿または柔らかい布を使用し、次の手順で取り除いてください。

1. ディスプレイの電源をオフにし、電源ケーブルをコンセントから抜きます。
2. 画面には、どのような液体も吹き付けしないでください。汚れていない柔らかい布を水だけで湿らせます (ペーパータオルや汚れた布を使用すると画面に傷が付く恐れがあります)。
3. 画面を上から下に向かって軽く拭きます。画面が破損する恐れがあるため、力を入れすぎないように注意してください。
4. 拭き取った跡が残らないように、別の汚れていない乾いた柔らかい布でもう一度画面を拭きます。



注意!

水で汚れが落ちない場合は、LCD パネル用と書かれた低刺激性のクリーナー (事務用品店で購入可能) を使用してください。

以下の薬品を洗浄剤として使用しないでください。

- ケトン型の薬品
- エチルアルコール
- エチル酸
- トルエン
- 塩化メチル
- アンモニア

これらの薬品を使用すると、化学反応によって偏光板に修復不能な損傷を与える恐れがあります。

10 技術仕様

モデル	UML-273-90	UML-323-90
LCD の仕様		
LCD の種類	27 インチ デジタル LCD	32 インチ デジタル LCD
バックライトの種類	LED	LED
ピクセルピッチ (H×V)	0.31125x0.31125	0.3637x0.3637
輝度	300cd/m ² (通常)	350cd/m ² (通常)
コントラスト比	3000:1 (通常)	3000:1 (通常)
応答時間	12ms (通常)	6.5ms (通常)
解像度 (H×V)	1920×1080	1920×1080
周波数	水平 : 60 ~ 73KHz 垂直 : 47 ~ 63Hz	水平 : 60 ~ 73KHz 垂直 : 47 ~ 63Hz
入力信号	映像 (BNC 1 チャンネル入力 1.0 Vp-p、75Ω 終端、ループスルー出力) S ビデオ (ミニ Din 4 ピン 1 チャンネル入力 (Y/C)) コンポーネント (YPbPr、RCA) HDMI DVI-D PC RGB (D-Sub コネクター) 音声入力 (L / R) x2 ライン入力 (3.5mm) トリガー入力 RS-232 (D-Sub 9 ピン)	
出力信号	映像 (BNC 1 チャンネル入力 1.0 Vp-p、75Ω 終端、ループスルー出力) 音声出力 (L / R) 外部スピーカー PC RGB (D-Sub コネクター) RS-232 (D-Sub 9 ピン)	
アクティブ表示エリア (横 × 縦)	597.6x336.15mm (23.53x13.23 インチ)	698.4mm x 392.85mm (27.5x15.5 インチ)
梱包箱の寸法 (幅×高さ×奥行き)	756×561×253mm (29.76×22.09×9.96 インチ)	910×608×205mm (35.83×23.94×8.1 インチ)
純重量	9.05kg (スタンドを使用した場合) (19.95lb)	12.5kg (27.6lb)
総重量	12.35kg (27.23lb)	15.1kg (33.3lb)
定格	AC 120 / 230V、50 / 60Hz	AC 120 / 230V、50 / 60Hz

モデル	UML-423-90	UML-553-90
LCD の仕様		
LCD の種類	42 インチ デジタル LCD	55 インチ デジタル LCD
バックライトの種類	LED	LED
ピクセルピッチ (H×V)	0.4845×0.4845mm	0.21×0.21mm
輝度	500cd/m ² (通常)	450cd/m ² (通常)
コントラスト比	4000:1 (通常)	4000:1 (通常)
応答時間	8ms (通常)	6.5ms (通常)
解像度 (H×V)	1920×1080	1920×1080
周波数	水平 : 60 ~ 73KHz 垂直 : 47 ~ 63Hz	水平 : 60 ~ 73KHz 垂直 : 47 ~ 63Hz
入力信号	映像 (BNC 1 チャンネル入力 1.0 Vp-p、75Ω 終端、ループスルー出力) S ビデオ (ミニ Din 4 ピン 1 チャンネル入力 (Y/C)) コンポーネント (YPbPr、RCA) HDMI DVI-D PC RGB (D-Sub コネクタ) 音声入力 (L / R) x2 ライン入力 (3.5mm) トリガー入力 RS-232 (D-Sub 9 ピン)	
出力信号	映像 (BNC 1 チャンネル入力 1.0 Vp-p、75Ω 終端、ループスルー出力) 音声出力 (L / R) 外部スピーカー PC RGB (D-Sub コネクタ) RS-232 (D-Sub 9 ピン)	
アクティブ表示エリア (横 × 縦)	930.24×523.26mm (36.6×20.6 インチ)	1209.6×680.4mm (47.6×26.8 インチ)
梱装箱の寸法 (幅×高さ×奥行き)	1234×786×275mm (48.6×30.9×10.8 インチ)	1379×850×273mm (54.3×33.5×10.7 インチ)
純重量	20kg (44.1lbs)	32kg (70.5lbs)
総重量	26kg (57.3lbs)	37kg (81.6lbs)
定格	AC 120 / 230V、50 / 60Hz	AC 120 / 230V、50 / 60Hz

Bosch Security Systems, Inc.

850 Greenfield Road

Lancaster, PA, 17601

USA

www.boschsecurity.com

© Bosch Security Systems, Inc., 2013